

JID NEWS

2004
No.224

目次

●平成 15 年度 JID 本部教育研究委員会	1
●若者のライフスタイル考察	2
●本部教育研究委員会活動報告	3
●事務所など掲示用「JID会員証」製作及び募集について	4
●広げよう賛助会員の輪「JIDサポーター99社アンケート」のご報告	4
●ベネフィット・ワン入会と更新	4
●事業支部ごとの同種活動の名称全国統一について	5
●平成 15 年度第 4 回理事会議事録	7
●平成 16 年度第 1 回理事会議事録	8
●第 36 回通常総会議事録	10
●JID NEWS 関東	11
●JID NEWS 中部	13
●JID NEWS 関西	14
●会員名簿の訂正	15
●新入会員の紹介	16

理事

山本 榛子

3月26日、本部教育研究委員会の活動報告会が開催された。

参加者50名余、そのうち理事12名、他団体などの会員外15名の方も参加され、発表者参加者ともに静かな中に熱気の感じられる会であった。報告会の企画実行を担当した委員会Cの最後の事業として充実したものとなったことを大変嬉しく思った。

本部教育研究委員会は、平成12年以来A・B・Cの3グループがそれぞれに活動してきた。またJID登録研究として活動している2グループがある。報告会では、これらの本部教育研究委員会に関わる活動の成果が発表された。

いずれも興味あるテーマと内容で、資料配布もされ、大変好評であったが、十分な発表時間がとれず残念に思われた方も多かったのではないだろうか。

30年位前にJID研究発表会？に参加したことがあるが、新入会員であった私にとって、先輩達の活動や研究に触れることで会員になったことに誇りを感じ、また大変励みになったことを記憶している。

今回は本部教育研究委員会の活動を中心とした発表であったが、広く会員の活動や研究等も含めた発表会を継続して行うことを提案したいと思う。

デザインへの期待がますます高まっており、情報収集のしやすい時代になったとはいえ、職能団体JIDからの発信ももっとあっていいのではないだろうか。

本部教育研究委員会活動報告会の概略

- (1) 委員会A：小学校「総合的な学習の時間」のインテリア教育報告
- (2) 委員会B：ルームシェアする若者たち調査報告
- (3) 委員会C：ヒューマナイズデザインをテーマとした展示会とセミナーの報告
- (4) JID登録研究：①ユニバーサルデザイン研究会報告
②インテリアから住まいを考える会活動報告

尚、報告会記録ビデオ（800円）の申込みは事務局へ。

1 | 2 | 3 |

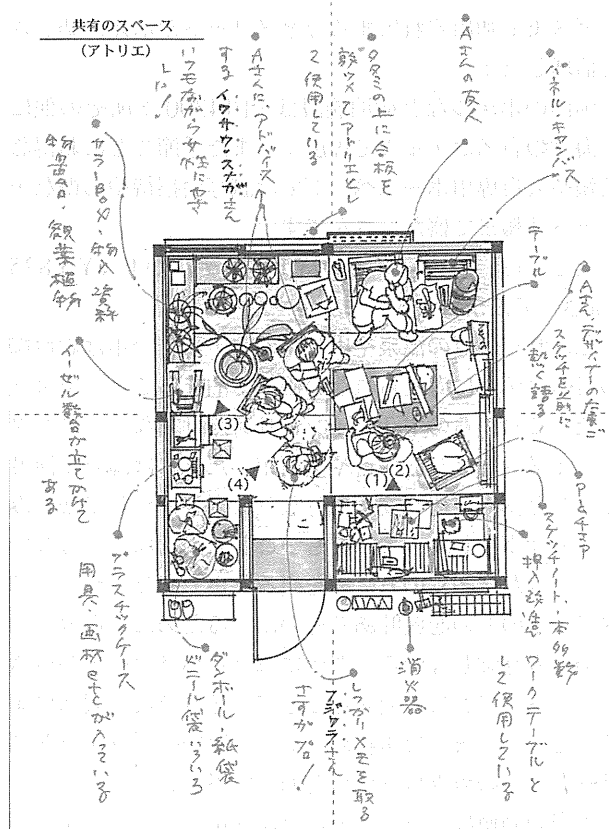
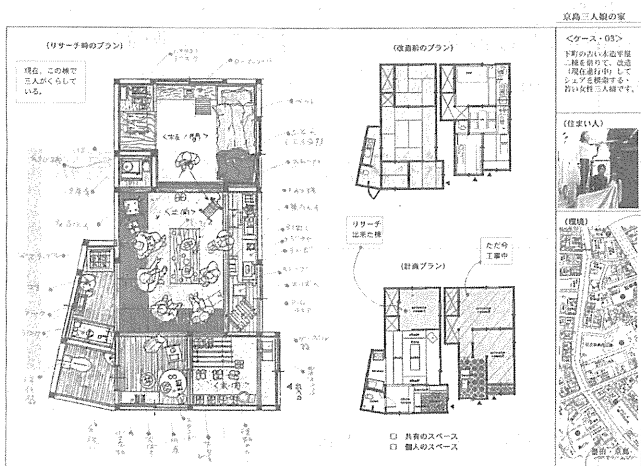
小学校「総合的な学習の時間」の
 インテリア教育報告
 本部教育研究 A グループ 委員長
 鈴木 儀雄

3月26日午後6時30分より、東京新宿リリカショールームにおいてJ I D本部教育研究委員会A・B・C各グループの研究発表会が行われました。

カリキュラム

- 1 あかりを楽しむ－素材編
- 2 あかりを楽しむ－動植物編
- 3 みんなで建築とインテリアの見学会
- 4 おかたづけの収納ケースをつくろう
- 5 私の住みたい部屋
- 6 座ってみたい椅子
- 7 色のマジカルワールド
- 8 お店をつくる
- 9 自分達のための“遊び”
- 10 変身する教室を体験しよう
- 11 和室って何だろう
- 12 インテリアは自分のもの

また、このマニュアルをベースに10月～11月に実験実習を小学校で行いたいと計画しております。



事務所など掲示用「JID 会員証」 製作及び募集について（募集予告）

本部総務委員会 委員長
安竹 麻智

初夏の候となりました。会員の皆様にはますますご清栄のことと拝察申しあげます。景気も回復軌道に乗ったとは言うものの、まだ私たちには実感は遠く、一部での株価や為替相場に一喜一憂する状況が続いているように思われます。

他方先行きが見えないなか、やすらぎやリラクゼーションが強く求められている時代、消費ではさまざまなシーンが活発に行われています。

いま求められているのは、日々の緊張感を解き放つことができる「より快適」で「より豊か」に過ごせる感性の息づく空間が求められているのではないのでしょうか。設立後46年の歴史を有する JID ですが、このような時代を背景に快適空間創造に携わるインテリアデザイナーという職能をより一層社会にアピールすることも必要なことかもしれません。

そこで、このほど携帯用会員証とは別に、事業所・事務所に掲示できるような A4 サイズの会員証を計画しています。

過去にも同様のものが計画されたことがありますが、一部の会員からの要望もあり今回再度計画しました。

A4 サイズ大の会員証を透明アクリルのフレームに入れたものを製作と考えています。配布については希望者のみへ有料で計画しています。

詳細については準備が整い次第案内いたしますが、フレーム込で 5,000 円前後を考えています。内容が決まり次第再度ご案内いたしますので、その節、ご希望の方は、メールか FAX でお申込みいただきたいとおもいますので宜しくお願いいたします。

広げよう賛助会員の輪「JID サポーター 99 社アンケート」のご報告

本部組織委員会 委員長
伊藤 公一

組織活性化及び強化の一環として実施しました「JID サポーター 99 社アンケート」に多くのご協力頂き有難うございました。100 名弱の会員の方にご協力をいただき、貴重なデータを集めることができました。

本部総務、組織合同委員会ではこの貴重な資料をグラフ化すると共に、59 社にまで減少した賛助会員企業との一層のコミュニケーションを図ること、また、残念

ながら現在賛助会員になって頂いてないインテリアメーカーに、新しく加入をお願いする基礎資料として、現在企業訪問活動などに活用しています。

一部では、明るい兆しが出てきた日本経済ですが、まだまだ厳しい舵取が必要な昨今、JID 会員と賛助会員企業が、日常のビジネスの中でいかに深い繋がりがあるかを、私たちも積極的に賛助会員企業に発信し、より強固な連携を模索すること、また、各会員が新しい賛助会員、新入会員を 1 人でも多く迎える努力をすることことは、とても大きな意味を持つことと考えます。

会員の皆様の中で、新入会員や新しく賛助会員に参加される心当たりのある方は、本部総務、組織委員会に是非ご連絡ください。

なお、アンケート結果につきましては、JID ニュースに掲載するには少しボリュームも大きくなりますので、本部事務局及び各事業支部事務局に閲覧用を準備しましたのでご利用ください。ご協力有難うございました。

ベネフィット・ワン入会と更新

本部組織委員会
道明 三千代

毎年 6 月は 1 年に 1 度の JID 福利厚生 of ベネフィット・ワン入会と更新の月です。1 年 ¥12,000 で 1 ケ月にとすると僅か 1,000 円と考えるとお茶を飲むくらいの負担で 1 年間旅行から映画・グルメなど暮しに関するライフサービスまで利用すればするほどメリットが増え、楽しさも倍増します。

国内のホテルなど宿泊施設は全国 4300 ケ所その他にも海外の有名ホテルまで幅広く、また季節ごとにお得な情報や会員専用ホームページでは試写会招待やお得なチケット情報まで盛たくさんです。

たとえば、箱根宮ノ下の富士屋ホテルが 1 人 ¥5,825 (税込) で泊まります。

私は昨年伊豆の温泉や出張時のホテル、今年はお台場の日航ホテルに考えられない価格で泊まることが出来ました。これからの生活はインテリアだけでなく、エンターテイメントとして舞台や美術館、たまには温泉や海外旅行など個人旅行を安く自分なりにアレンジして楽しみながら仕事をして、余裕をもつことも大切なのではないのでしょうか？多くの方に夢を売る仕事であり、ライフスタイルそのものを興味あるものにするために、自分自身が楽しみ勉強しながら、豊かに暮せるパスポートがベネフィット・ワンに入会することで、それを最大限活用することです。まずは事務局にある分厚いベネフィットステーションのカタログに目を通して下さい。

本当の価値は入会してどんどん活用することです。

事業支部ごとの同種活動の名称 全国統一について

総務担当理事
秋山 修治

平成14年5月24日開催の通常総会に於いて、平成14・15年度の運営方針でも表明されたとおり、協会活動を活性化する方法として、より地域に根ざした活動の充実を図ることになりました。

また、全体予算が縮小する中、事業支部の活動費を出来るだけ維持し、全体の中でより多くの割合を占める予算編成となっています。協会活動を活性化していくためには、事業支部単位でより濃密な情報・交流活動が行われて行くことが重要であるとの認識によるものです。このような方針に中でそれぞれの事業支部が、その地域に相応しい活動を模索し議論され少しずつ実施の方向にあります。

同種活動名称統一の件

15年11月21日に、経済産業省の定時業務監査がありました。その折に指摘された事項の中に、事業支部単位で行われている、学生や若人への支援活動「ユースやACTの会」などの名称が事業支部毎に異なっているのは適切ではなく、名称を統一するよう指摘を受けました。

この監査結果を受け名称統一を行うようその後の理事会などで話し合われましたが、「ユースやACTの会」等の発足当初の経緯や各事業支部毎の参加者によるネーミングだった事などの経緯もあり、理事会決定の前に各事業支部間で調整検討し、理事会へ報告、それを受け、理事会で決定し全国統一名称にすることになりました。

同じように、賛助会員による地域活動が関東事業支部で15年度に立ち上げられていて、引き続き関西でもまた、他事業支部でも同じ動きがあったため、「JID パートナース」が、ユースの会などと同じような、混乱を起こす前に、経済産業省の指摘をふまえ理事会で話し合い今後各事業支部において行われる賛助会員との活動を、

関東事業支部は JID パートナース・関東

中部事業支部は JID パートナース・中部

関西事業支部は JID パートナース・関西

九州事業支部は JID パートナース・九州

の名称に統一することとしました。

各事業支部長および事業支部担当理事に、本年1月開催の理事会以降に上記決定をお伝えいたしました。

会員や構成員の事業支部間の移動や、今後さまざまな活動も予測されます。同一法人が、同種の活動を行う場合、周辺に誤解や混乱を起こさないためにも、同一名称で活動を行うことは必要なことだと思います。

今後また、各事業支部で新しい活動が生まれた場合に

は、以上のことを念頭において、企画運営されることをお願いいたします。

なお、学生や若人への支援活動の名称については現時点(16年4月)ではまだ決定を見ていません。決定し次第ニュースなどを通じお知らせいたします。

平成15年度第4回理事会議事録

①会議名 平成15年度第4回理事会

②日 時 平成16年3月26日(金) 13:30～16:30

③場 所 社団法人日本インテリアデザイナー協会
OZONE 会議室

東京都新宿区西新宿3-7-1

新宿パークタワー 8F

TEL03-5322-6560

④出席 (理事長) 木村戦太郎

(副理事長) 阪井良種

(理 事) 秋山修治、岩倉榮利、川上玲子、
吉良ヒロノブ、熊谷正信、
小宮容一 須長壮太郎、
森谷延周、山下博之、八十常充、
山本棟子、山永耕平

(委任出席) 佐々木恵子

(監 事) 川上信二、中川千年

(事務局) 峰尾 武

I 報告事項

1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

2) 平成15年度収支状況報告(2月末日)

3) その他

財務運営資金繰り

次回会議日程

平成16年度第1回理事会 平成16年5月28日(金)
13:30～15:00

第36回通常総会 平成16年5月28日(金)
15:30～17:00

II 議題

第1号議案 平成16年度予算確定について

第2号議案 後援・協賛名義承認の件

第3号議案 会員入退会承認の件

第4号議案 議事録署名人選任の件

(山永耕平、熊谷正信)

峰尾事務局長より「理事総数15名中本人出席14名、委任出席1名で本理事会は成立した」旨報告、木村理事長が議長となり議事に入った。

Ⅰ 報告事項

1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

● 関東事業支部（山下）

1. 情報委員会

会員ワーク集正式参加83名、作品約100頁、広告掲載22社、先行予約255冊で収入460万円。ワーク集3,000円で140冊を販売できれば当初予算の500万円を達成。1週間ごとにレイアウトメンバー会議を行っているが、作品原稿及び本部、支部原稿がまだ揃わずスケジュールに影響がある。

2. 事業推進委員会

1) JID マイシリーズ（江戸職人シリーズ、江戸切子・江戸指物・三味線造り）2月21日実施。

2) デザイン職人四方山話、會田雄亮氏（陶芸家）を企画4月23日実施予定。

● 中部事業支部（熊谷）

1. 展示委員会

第4回展示委員会を実施、3月開催の「F.L. ライトとの対話パートⅡ」展、広報先及び内容検討及び「インテリアデザインの現場展」空間づくりのレシピ協議。

2. 月例会、1月度例会及び新年会と作陶体験（1月17日瀬戸市）を実施。2月度（2月7日）「F.L. ライトとの対話パートⅡ」作品展検討及び「インテリアデザインの現場展」等検討。

3. 「インテリアデザインの現場展」CIP 共催を2月18日～23日実施。21日は北原 進氏（会員）を迎えデザインセミナー実施、参加者120名。

4. 「ライトとの対話パートⅡ」3月21日～4月4日を実施。

5. J ID 中部学生賞3校に授与（愛知工業専門学校、名古屋デザイナー学院、名古屋総合デザイン専門学校）

● 関西事業支部（八十）

1. 1月7日マーケットデザイン会合、まとめの方向検討

2. 平成16・17年度支部委員会総会（1月9日）会員香川深雪氏提案漆床「うるわし」アンケート調査関西事業支部受託。

3. 間月会（1月26日）漆床「うるわし」事業部中心でプロジェクト、案内・スケジュール確認他打合せ。漆床「うるわし」（2月6日）アンケート会合。

4. 研究部会、「インテリア実習マニュアル」作成のため会合。

5. 2月14日、日本テキスタイルデザイン協会、TDA テキスタイルスクール講師に小宮容一、安藤真吾両氏参加。

6. 2月16日第5回運営部会、理事会報告「学生の会」の件及び岡山直島見学交流会（2月28日）実施、その他ECHO誌24号発刊予定。

7. 2月20日総務部会本部提出15年度実績及び16年度予算検討。

8. 3月3日協賛企業、創造社学園「公開プレゼンテーシ

ョン会」参加（清家）。

9. 3月8日漆床「うるわし」アンケート集計、書類提出報告方法検討。

● 九州事業支部（山永）

1. 1月17日第2回役員会開催、平成16年度選挙開票結果について、次期役員選出と次期予算検討。特別事業「デザインセミナー in Fukuoka」の開催について検討。

2. 2月21日第3回役員会開催、平成15年度事業支部事業報告及び会計報告。

全役員の反省と新役員への引継ぎを実施。新役員支部長飯田一博、総務事務局前崎弥生、特別事業委員長川崎泰秀、国際交流委員長江島太士、教育情報委員長下田 隆、九州担当理事山永耕平、監事中川千年に決定。

3. 3月20日第4回例会（熊本）熊本で活躍のプロデューサー山野潤一氏の作品視察。

「ジャンジャンゴー」兵士の休息要塞・人民食堂、「GYAN」PS社の冷暖房機パーティションとの融合、「∞ 横峰」古民家のコタツのある縁側の食空間、その他共同店舗、カフェ等を見学。

4. デザインセミナー IN FUKUOKA テーマ「駆け立てるものは何か」について検討、6月11日実施予定。

● 総務・組織委員会（秋山）

1. Jプロジェクトについて、アンケート回収終了、集計作業を実施、結果の分析とビジュアル化。今後賛助会員の強化につなげる。

2. 1月22日ニューイヤーズパーティの実施。

3. 地域活動の名称統一。16年度JIDパンフレットの更新。大型会員証の希望者有償配布の実施等検討。

● 国際・交流委員会（川上）

12月19日IFIインド総会の報告及びJID MEET THE WORLD 実行委員会委員との交流会実施。

2004年度の委員会活動及びフォーラム企画。IFIインド総会報告及び「JIDの今後の国際関係を考える」をOZONEセミナールームで4月9日実施予定。

● 情報委員会 インターネット・JID ニュース（吉良）
賛助会員のリンクページについては、総務委員会と連携を取りながら進める。今後バナー広告の募集等を検討（毎年更新）。JID ニュースは引き続き制作効率を上げ、経費の節減を行う。

● 教育・研究委員会A（小宮）

前年度より続けてきた研究と実験実習を分析し、小学校用インテリア教育マニュアルを作成、3月26日JID本部教育研究委員会共同活動報告会で報告。

● 教育・研究委員会B（須長）

研究テーマ「ルームシェアする若者達」の最終打合せを3月5日実施、3月26日の本部教育研究委員会共同報告会で報告。

● 教育・研究委員会C（山本）

本部教育研究委員会A・B・C、3グループ及びJID登録研究の合同報告会を企画、リリカラショールーム

会場使用と、リリカラ（株）の後援を頂き実施。

● 選考委員会（岩倉）

今年度の選考委員会の検討事項及び16年度以降の予算及びスケジュールと2005年 JID 賞について説明。

2) 平成15年度収支状況報告（2月末）

事務局長より2月末収支状況について説明及び3月末決算に関する見通しについて説明、質疑を行った。

3) その他

財務運営資金繰りについて事務局長より報告。

川上監事より経済産業省の公益法人検査報告結果について経済産業省からの報告書を基に説明があった。

平成16年度第1回理事会及び第36回通常総会の日程確認を行った。

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

Ⅱ 議題

第1号議案

平成16年度予算確定について

一部を除きほぼ確定した予算案について事務局長より説明審議した後、議長は承認を諮り、異議なく承認された。

第2号議案

後援・協賛名義承認の件

事務局長が下記2件につき説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

○2004年度「インテリアライフスタイル」

平成16年6月23日（水）～25日（金）東京国際見本市会場

主催 メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

後援・継続

○「第58回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2004」

平成16年9月7日（火）～10日（金）ビッグサイト

主催 株式会社ビジネスガイド社

後援・継続

第3号議案

会員入退会承認の件

事務局長が下記28件について説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

正会員 入会（3件）

氏名	支部	推薦者
戎谷 克治	九州	山永耕平 峰尾 武
佐倉 康之	関東	秋山修治 峰尾 武
森 美香子	〃	熊谷正信 峰尾 武

賛助会員 入会（1件）

社名	紹介者
ハンスグローエジャパン株式会社	ハンスグローエシンガポール（SID メンバー）

正会員 退会（21件）

氏名	支部	No.
吹田 頼信	関東	0951
平川 義浩	関西	0670
檜村 弘子	関東	0969
中村 真	関東	0373
蛭名 紀之	関東	1043
鈴木恭二郎	関東	0392
鈴木 慶一	関東	0141
碓井 恵里	関東	1028
助野 忠夫	中部	1161
林 柳江	関東	1100
田中 邦子	関東	1031
中川 成人	関東	0790
行方ひふみ	関東	0576
安松 一雄	関東	1089
斉藤 裕子	関東	1101
木村 洋子	九州	0955
杉 富士雄	関東	0416
鳥場 淑高	関東	0898
山田 素志	関東	0949
館野 羊一	関西	0421
忍足 謙	関東	0544

賛助会員 退会（3件）

社名	No.
福山ホーム株式会社	3106
株式会社インターオーシャン	3170
株式会社観光企画設計社	3027

第4号議案

議事録署名人選任の件

議長は山永耕平、熊谷正信両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成15年度第4回理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び決議事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 木村戦太郎

議事録署名人 山永 耕平

議事録署名人 熊谷 正信

平成16年度第1回理事会議事録

議事録

- ①会議名 平成16年度第1回理事会
②日 時 平成16年5月28日（金）13：30～15：00
③場 所 社団法人日本インテリアデザイナー協会
OZONE 会議室
東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー 8F
④出席者（理事長） 川上玲子
（副理事長） 小宮容一、阪井良種
（理事） 秋山修治、安藤 清、岩倉榮利、
吉良ヒロノブ、坂本和正、
丸谷芳正、山永耕平
（委任出席） 清家淳一
（監事） 川上信二、中川千年
（事務局） 峰尾 武

I 報告事項

- 1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
2) その他
財務運営資金繰り
次回理事会日程 平成16年9月11日（土）
13：30～16：30

II 議題

- 第1号議案 平成16年度～17年度役員役職承認の件
第2号議案 後援・協賛名義承認の件
第3号議案 会員入退会承認の件
第4号議案 議事録署名人選任の件 予定（安藤 清、
坂本和正）

峰尾事務局長より「理事総数11名中本人出席10名、
委任出席1名で本理事会は成立した」
旨報告、川上玲子理事長予定者が議長となり議事に入っ
た。

I 報告事項

- 1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

●関東事業支部（阪井）

会員ワーク集、6月末発行の予定で進行中。又パート
ナーズ関東の事業を推進中。

●中部事業支部（安藤）

3月21日～4月4日「F・L・ライトとの対話」Ⅱを実施、
15000人の入場者があった。3月24日～中部デザイ
ン団体協議会アワード賞展、宇賀敏夫会員受賞。その
他4月23日連絡会、5月15日役員会・連絡会実施。5
月26日～31日グラフィックス2004多治見（名古屋展）

CCDO 協力。尚、今後支部総会を福井三国にて6月
19日～20日予定。

●関西事業支部（小宮）

3月22日新旧合同部会開催、関西事業支部事務局吉
田氏から高尾 女氏に代わる。4月3日賛助会員、創
造者デザイン専門学校入学式及び、4月10日関西イ
ンテリアプランナー協会総会親睦会で清家支部長挨拶。
4月21日第7回運営部会、4月28日 USD - O 運営
会議を夫々実施。その他会員ワーク集関西ページに「う
るわし」アンケート掲載とともに6月5日支部総会で
四国香川会員報告予定。又今後企業商品説明会（6～
7月）、及び中国家具視察（8月）を計画予定。

●九州事業支部（山永）

5月23日第1回役員会を開催、新規役員の発足、支部
長（飯田）、事務局（前崎）、総務委員長及び組織委員
長未定、情報委員長（下田）、教育委員長（下田）、国
際交流委員長（江島）、特別事業委員長（川崎）。
「デザインセミナー IN FUKUOKA」予定決定。
テーマ「駆り立てるものは何か」主催福岡県デザイン
協議会、福岡デザインリーグ。共催、各デザイン団体
で6月11日（金）実施予定。

●総務委員会（秋山）

第36回通常総会の準備。事務局など掲示用 JID 会員
証の募集を JID ニュースに掲載。J-プロジェクト順
次進行中、アンケート調査は JID ニュースに掲載予定。

●交流委員会（坂本）

交流委員会主催の「JID 国際交流を考える」及び IFI
インド総会報告を4月9日実施、結論として JID にと
って国際交流は不可欠を確認。2004年 APSDA 香港に
参加とツアーを企画、及び2005年 IFI への参加も予
定、参加費用等については予算の中で優先順位をつけ
検討。その他 JID Meet the world は年2回のペース
で企画予定。又 IPEC21 への参加はインテリアプラ
ンナー協会と協議、参加形態を決める。

●情報委員会インターネット（吉良）

今後、決定予算の詳細配分調整と HP をより見やすく
内容検討。

●情報委員会 JID ニュース（吉良）

224号は編集進行中。225号より関西に移行編集作成
の予定。

●選考委員会（岩倉）

ビエンナーレによるスケジュール決定。2005年 JID
賞募集の準備を進める。最終審査は外部審査員4名と
理事長。又学生賞を廃止「新人賞」を新設（35歳まで）。

●事業推進担当（安藤、小宮、丸谷）3理事がメール意 見交換後、7月10日名古屋で会議予定、事業 推進の骨格案を作成、正副理事長会議に上申。

●4事業支部担当（阪井） ユース、ACTなどの名称・ 規約統一を進める。

3) その他

財務運営資金繰り

事務局長より4月末決定と5月末予測について順調に推移と報告。

次回理事会(平成16年度第2回)予定を9月11日(土) 13:30～16:30に決定。

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれ了承した。

II 議題

第1号議案

平成16年度～17年度役員役職承認の件

議長が第36回通常総会資料、第2号議案に基づき理事及び監事について説明した後、議長は承認を諮り、異議なく承認された。

第2号議案

後援・協賛名義承認の件

事務局長が下記4件につき説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

○第10回建築リフォーム・リニューアル&コンバージョン展

平成16年6月23日～25日東京ビッグサイト

主催 建築リフォーム・リニューアル&コンバージョン展組織委員会

後援・継続

○「第32回大阪インターナショナル・ギフト・ショー・秋2004」

平成16年9月28日(火)～30日(木)

主催 株式会社ビジネスガイド社

協賛・継続

○第23回 JAPANTECH2004 インテリアトレンドショー

平成16年11月24日(水)～27日(土)

主催 社団法人日本インテリアファブリックス協会

協賛・継続

○「デザイン・コンペティション海南 the final」

2004年6月21日～2005年2月上旬

主催 海南デザイン・ビエンナーレ実行委員会

後援・継続

第3号議案

会員入退会承認の件

事務局長が下記19件につき説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

正会員 入会 (5件)

氏名	支部	推薦人
山川富喜子	関東	川上玲子、本澤和雄
竹川好郎	中部	安藤 清、小宮三辰
石田和人	関東	川上玲子、井上 昇
浅賀秀弥	中部	峰尾 武、安藤 清
藤井昌男	関東	川上玲子、本澤和雄

賛助会員 入会 (4件)

社名	紹介者
株式会社 添島敷商店	川上玲子
サイレントグリス株式会社	大概秀人
ラ・ヴィータ株式会社	早乙女明子
株式会社サカイ	山永耕平

正会員 退会 (5件)

氏名	支部	No.
山田隆二	関東	0587
岸根歳幸	関東	0332
野田和子	関東	0876
小松原ひろみ	関東	1062
山中良子	関東	0830

賛助会員 退会 (5件)

社名	No.
株式会社エクスパンド	3171
株式会社三越	3122
太陽工業株式会社	3173
コマニー株式会社	3145
株式会社ユニオン	3133

第4号議案

議事録署名人選任の件

議長は安藤 清、坂本和正両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成16年度第1回理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び決議事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 川上 玲子

議事録署名人 安藤 清

議事録署名人 坂本 和正

第36回通常総会議事録

①開催日時 平成16年5月28日(金)
15時30分～17時00分

②開催場所 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
OZONE セミナールーム

③議 事

第1号議案

平成15年度事業報告(案)・平成15年度収支決算報告(案)承認の件

第2号議案

任期満了に伴う役員改選の件

第3号議案

平成16年度事業計画(案)・平成16年度収支予算(案)承認の件

第4号議案

議事録署名人選任の件

④議事経過

定刻15時30分峰尾事務局長の開会の辞で開会した。
直ちに「本日の正会員数421名、本日の出席者数40名、定款第25条による委任状提出者数230名、合計270名(対正会員数64.1%)である。
定款第23条による定足数は210.5名、よって本会は成立した」旨、成立宣言がなされた。
議事に先立ち、峰尾事務局長より定款第22条により、本総会の議長は、理事長がこれにあたる旨説明した。
続いて木村戦太郎理事長が議長となり挨拶の後、議事に入った。

第1号議案

平成15年度事業報告(案)・平成15年度収支決算報告(案)承認の件

議長が総括説明を行い、平成15年度は、昨年同様本部のスリム化と各事業支部の活性化を志向しつつ16年度に向け検討を重ね、定款の改訂認可を受け役員選挙規定の改訂を実施、又16年度に向けての組織の改訂を作成、その他本部財務の健全化及び事務局の合理化等を行ったと報告。

次に各々の事業報告及び収支決算の内容について事務局長より報告が行われた。引き続き監事を代表して中川監事より去る4月23日東京において会計監査を行った結果が報告された。

その後質疑に入り、若干の質疑応答の後、議長は総会に承認を諮り、賛成多数でこれを承認した。

ここで議長を川上玲子次期理事長予定者に移し議事に

入った。

第2号議案

任期満了に伴う役員改選の件

議長が総会に先立ち行われた平成16年度第1回理事会において承認された、役員について議案書に基づき説明を行った後、議長は総会に承認を諮り、全員異議なくこれを承認した。

第3号議案

平成16年度事業計画(案)・平成16年度収支予算(案)承認の件

議長が総括説明を行い、平成15年度に行われた本部のスリム化と事業支部の活性化の推進、各事業支部を中心に賛助会員との連携、会員が一体となって行動できる体制づくりの方策として、JIDの活性化のためのシンクタンクと更なる改革、理事会、委員会、会員間の意思疎通、国内外に対するJIDのアピール並びに財務の健全化等活動の基盤づくりを行うと提案。
次に各々の事業計画(案)及び収支予算(案)について事務局より説明が行われた。

その後質疑に入り、若干の質疑応答の後、議長は総会に承認を諮り、賛成多数でこれを承認した。

第4号議案

議事録署名人選任の件

議長から腹案として、菅野民子・酒井正人両会員(いずれも関東事業支部所属)が提示された。
以上につき、議長は総会に承認を諮り、全員異議なくこれを承認した。

⑤閉会

議長が挨拶に立ち、本日の議事案件の審議に対するご協力に感謝する旨の謝辞が述べられ、定刻17時00分、第36回通常総会は滞りなく終了した。

以上、社団法人日本インテリアデザイナー協会第36回通常総会の議事経過の要領及び結果を記録し、その相違ないことを証明する。

平成16年5月28日

社団法人日本インテリアデザイナー協会

議長 理事 木村戦太郎

議長 理事 川上 玲子

議事録署名人 菅野 民子

議事録署名人 酒井 正人

JID NEWS

関東

第13回 デザイン職人四方山話

陶芸家會田雄亮氏「環境アートを語る」

関東事業支部 事業推進委員会 委員長
村元 俊子

今年度の「デザイン職人四方山話」は4月23日に陶芸家の會田雄亮氏をスピーカーに迎え、長岡貞夫氏のコーディネートで開催いたしました。会場はJR四ツ谷駅前とアクセスも良く参加者は55名と盛況で、お話も大変に楽しく好評でした。

會田氏は美しい色使いの縞柄のシャツで登場され、コマースルでおなじみの縦縞のコーヒークップについて語られるといった楽しい演出もあり、会場は終始なごやかな雰囲気に包まれていました。

京王プラザホテルの陶壁、エントランスの外壁、ラウンジの庭園“陶と水と庭”や三井ビルのモニュメント“滝等広場の造形”などに代表される「環境アート」から、色の陶土を重ねて縞柄を作る「練上げの日常食器」までと実に多彩な制作活動をされている會田氏のお話はバラエティに富んでいました。ご自身の作品などのスライドを80枚持参され、それぞれの作品の画面で、発想のきっかけや製作過程の苦労などをなげなくユーモアを交えて語られるとつい引き込まれて、参加者たちはは時間を忘れて聞き入りました。

この「デザイン職人四方山話」は1996年から関東事業支部の事業推進委員会が連続して開催しているセミ



會田氏の作品
モニュメント（新宿三井ビル広場の造形：第2回吉田五十八賞受賞）



ナーで、デザイナーの諸先輩方の貴重な経験やご苦労や取っておきの面白い話をじっくり聞いて見たい、記録して置きたいとの気持ちではじめたものです。過去12回には、多彩な顔ぶれの方々をお迎えして創造する楽しさやその発想の原点を話していただきました。

今回の會田雄亮氏も建築と陶芸のコラボレーションの分野で次々と新しい試みを続けておられ、外国でも高い評価を受けておられます。1974年には名古屋観光ホテルロビーと庭園でJID賞を受賞されています。限られた窯を使って造る陶芸である大きなモニュメントをどんな方法で焼成されるのだろうかとか接続部分がわからないがどうなっている？など製作過程についても伺いたいことは沢山ありました。そんな素朴な疑問が何気なく話される中で理解でき、それぞれの作品で大変な試行錯誤やご苦労があったことを知りました。

會田氏は打ち合わせ時「僕の話は1時間30分です。」と言われたので30分は質問時間に当てる用意をしていましたがこれはまったく不用でした。終了予定時間を過



ぎてもお話は尽きず、ちらちら時計を気にされながら山陰地方の屋根瓦が作る美しい風景、ポルトガルのナザレの漁港の石畳のことなどとお話は続けました。コーディネーターの長岡氏も何度も時計を見ながら、やむなく二次会の案内をしながら一旦閉会にするといった状況になりました。もっともっとゆっくりと続きを「聞きたい四方山話」でした。

このセミナーは多くの皆様のご協力に支えられて継続しております。これからも貴重なお話を聞ける大切な機会を続けていきたいと願っております。どうぞ今後も多くの方のご理解とご協力をお願いいたします。

第2回「日経オフィス賞」 入賞オフィス見学会に参加して

鈴木 滋伸

千代田区丸の内、丸の内ビルディング18階 IBM ビジネスコンサルティングサービス(株) 受付集合。

第1回入賞オフィス見学会も関心度が高かったが、今回はそれ以上の参加数でした。

会議室にて、IBM 側女性コンサルタントより会社概要説明あり。

オフィス・コンセプトは“進化し続ける「オンデマンド・ワークプレイス」”

社員2500名に対し500脚程度の椅子、テーブル。そこには社長、重役、経理、総務等の分が含まれ、コンサルタントは社外活動が主であり、公園、広場、喫茶店、在宅勤務も可。会社には自分専用の椅子、テーブル、はたまたロッカーもない。パソコン片手に自由自在、神出鬼没。自と成績評価に違いは出るが、遊ぶも自由、仕事するも自由。デジタル化と24時間情報共有の徹底、オフィススペースのカット、ペーパーレス等々が可となり、業績アップ。まず、個室の社長室、重役室がない、壁がない。あるのは中小の会議室が8部屋。壁は透明ガラス、廊下より内部丸見え、活気が感じられる。社長、重役も一つの簡易空間を共有する。円形状に机を並べ中心に背を向けて座る。ロッカーも書類棚もほとんどない。あるのは机にパソコン関係の電源が目立つのみ。

コンサルタントのスペースにも、4～6人単位、小さめの椅子、テーブルが整然と配列され、黙々と仕事をしている様は緊張感あり。仕事内容により専門コンサルタント数名がチームを組み仕事に対応。その打合せスペースとして、所々に透明ガラスの腰壁で囲われたブースがある。使用方法是会議室同様、完全予約制とのこと。この付近のみ人声が聞える。何故か、ほっとする。

カラスキームは「白と黒」を基調に、明るい木質で統一。受付よりのアプローチ天井には、音楽に同調させカラフルな色模様が点灯し、心の緊張を柔らげる効果あり。

私はアナログ人間であり、仕事の建築計画案作成もCADは使用せず、フリーハンドの図面に着色して提出。

最後に、協会々員の「社内でのストレスは？」の質問に、「机に長時間座ることもない」「移動自由」「コミュニケーションはそれなりに」、コンサルタントの70%以上は「IBMを一生涯の仕事場とは思っていない」との回答。

JID マイシリーズ『江戸から東京へ職人技の伝承』

江戸切子体験ツアー

星 富士子

今回のツアーを計画した背景には、前回の「マイ・チェア in 上海」があります。

シリーズも2度にわたって開催され好評を得ています。

今回は国内に目を向け、今日まで培われた江戸の職人技を21世紀に伝えたい！という思いから1年間、準備をしてまいりました。

江戸職人技多々ある中、今回の江戸切子体験、東京三味線、江戸指物見学と、どれも人間味あふれる奥深いものでした。

とくに江戸切子体験では、マイグラスなど^{まが}細かい成りにも自分のものが完成した喜びを味わうことができました。江戸職人技のほんのサワリ程度でしたので、またの別の機会を設けてより深い体験を！と参加者の声が高まりました。



清野の川田

星 富士子(東京芸術大学 建築学系 建築設計学科 教授) & オール

JID NEWS

中部

JID 会員展

中部事業支部
池田 慎司

3月21日から4月20日にかけて、愛知県犬山市の博物館明治村にあるF.L.ライト設計の旧帝国ホテルにおいて、第二回目となるJID中部事業支部の会員展（F.L.ライトとの対話）が催されました。

第一回目は、二年前に同じ旧帝国ホテルを使用させていただいたのですが、普通の展示会場ではなく会場そのものが展示物という中での作品展というものはそれなりの気遣いが必要でした。

今回は、出展者が関東・関西・九州の各支部からも参加をいただいたこと、そして漆器で有名な木曾の檜川村の協力も得て、漆とのコラボレーションも試みられたということで、第一回目に増して大変中身の濃い充実した展示会になったと好評をいただきました。

展示内容は自由で、日常の仕事の延長のものから日頃関心を持っている事柄等を作品にして、前回と同じ「F.L.ライトとの対話」というタイトルで展示しました。

この展示会について、明治村及び犬山市からは継続のオファーがあり、二年に一度のペースで定期化していきたいとの話も出ています。

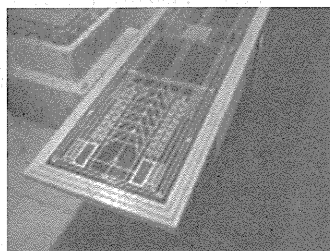
博物館明治村は、日本全国にあった明治時代を代表する建築物が、自然のロケーションの中に、昔からその場所にあったかのように移築されています。建築・住空間



夏原晃子氏の作品
「Hey. Did you see that」
（卵の形をしたアクリルのボール）



池田慎司の作品
「宴」（流木・小枝・麻縄・漆を使った
自然の食卓）



小宮辰三氏の作品
「ほんまものの道具」一置き床—
（漆で描かれた幾何学模様）

に関係のある方々には興味をそそられる内容が充実しています。機会がありましたらぜひ見学されると良いのではないかと思います。

展示会は回を追うごとに内容が充実していくものですが、現時点では一部の人たちを除いては、博物館明治村に入館料を払ってまで展示会を見に行くのではなくて、明治村を見に来て偶然JIDの展示会に遭遇したという状態だと思います。展示内容及び展示会そのものに対しての広報を工夫していくことにより、今以上の注目を集める催しになる可能性を持っています。

中部事業支部としてはこれからも会員展を企画していきますが、各支部の皆さんに出品参加をよろしくお願いしたいと思います。

「インテリアデザインの現場展」

—空間作りのレシピ—

中部事業支部
安藤 清

デザイン都市・名古屋のデザイン啓発事業として今年2月18日から23日まで国際デザインセンターにて表記の企画展を開催した。JIDと中部インテリアプランナー協会と共催で開催した。

当地はもの作りの地域でインテリア産業にかかわる企業も数多く「インテリアデザインの現場展」もこの背景のもとインテリアデザイナーがてがけたホテル、商業施設、マンションシヨン、住宅、家具、アートワーク、他など普段目に触れないデザインプロセス、パース、カラースキーム、模型、図面など展示し市民の方々に好評でした。特にホテルインテリアで今をときめくHABのプレゼ資料の立体的なカラースキームの大きさには若い学生さんたちはくいいるように見てみえました。会期中の21日（土）には会員のインテリアデザイナー北原 進さんをお迎えし大盛況のなかでデザインセミナーを近作を交えて開催できました。北原先生にはご多忙の中紙面をおかりし再度ありがとうございました。



JID NEWS

関西

JID-ACT kansai 主催による デザインシンポジウム開催

関西事業支部副支部長
鈴木 儀雄

4月25日大阪市西区南堀江 堀江家具製作所2F
ショールームにおいて、デンマーク家具研究者で北海道
東海大学芸術学部教授 織田憲嗣 氏に「人にやさしい
デンマークの椅子」をテーマに基調講演を依頼。

その後、「ユニバーサルデザインの次に起こるデザイ
ンとは？」をテーマに、加藤 力会員・佐々木 恵子会員・
七条 健会員・村上 太佳子会員・鈴木 儀雄の5名がパネ
ラーを務め、小宮 容一会員をモデレーターとし午後3
時よりパネルディスカッションを開始し、JID - ACT
kansai（以下 ACT）の会員を中心に一般ゲストを含め
約100名の参加者が、最後まで大いに盛り上がりました。

また、同時開催（4月25日～5月5日）の「デンマー
ク5大巨匠の椅子30脚展」もゴールデンウィークと言
うこともあり多数の来場者がありました。今回は堀江
家具製作所の全面協賛により実現したのですが、ACT
役員が今年3月より日々準備を進め4月に入ってから、
徹夜作業で頑張る姿を見るに至り心打たれるものがあり
ました。

ACTでは、年間に1度は今回のような大きなイベン
トを企画したいと燃えております。また、出来ると思ひ
ます。



シンポジウム風景

JID 会員の皆様、若い ACT の企画へのバックアップ
をこの場をお借りしてお願い致します。

最後に今回の企画で中心となった ACT 役員を改めて
紹介させて頂きます。

佐々木 由希子、立松 三智子、青木 円香、木田 智子、
大塚 まみ、三浦 麻衣、長澤 純子



ゲストを囲んでアクトの会

漆床材「うるわし」

関西事業支部
香川 深雪

この度は漆床材「うるわし」のアンケートに御協力
いただきましてありがとうございました。

漆は千年の歴史が物語るとおり、色やテクスチャー
に深い味わいがあり、塗料としての強さ・美しさだけで
なく、昨今言われているシックハウス症候群や化学物質
過敏症などとも無縁であると思います。しかし、香川の
代表的な地場産業であり伝統的工芸品である香川漆器は、
長引く景気低迷により厳しい経営環境にあります。そこ
で、考えられたのが漆を什器や工芸品として取り上げる
のではなく、昔から建築塗料・接着剤として使われてい
た本来の役割に使用した商品を漆器生産者と、南海プラ
イウッド（合板メーカー）が協力し、無垢材・合板を基
材とした床材を規格化し、生産することでした。

問題点は市場のニーズがまるでつかめていないとい
うことで、アンケートをお願いする事になりました。

アンケート 回答者103名（男69名・女34名 建築
インテリア関係74名）

価格（高い40%） 興味ある（78%） 使ってみたい
（47%） など数字として貴重なデータがたくさんあり
ましたが、御意見として記入いただいたものが大変あり
がたかったと思います。デザイン性 サイズなど検討す
べき課題が多々あることを改めて認識いたしました。

今回の調査を踏まえて、現在漆の塗布回数を減らし（品

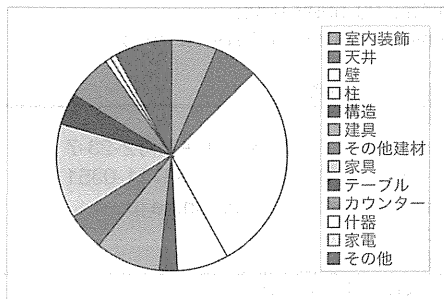
質を落とさないで) 価格を下げる商品に取り組んでいこうとしています。

漆床材「うるわし」は現在 高松市のサンポート かがわプラザに空間セットとして、展示されています。駅のすぐそばです。高松においでの際はぜひお立ち寄りください。

お忙しいなか、いただいた貴重な御意見を今後に生かしていきたいと思います。

漆床材を使いたい場所

室内装飾	7
天井	7
壁	33
柱	8
構造	3
建具	10
その他建材	6
家具	15
テーブル	5
カウンター	7
什器	1
家電	1
その他	9



瀬戸内ぶらぶら歩き

杉浦 房江

今回の旅は、倉敷の雛めぐりから始まりました。懐かしい子供の頃のひな祭りを思い出させてくれました。違っていたのは、お雛様が商店街のショーウィンドウから外を向いて座っていた事です。道行く私たちを眺めていたのかもしれません。刀に手を掛けた江戸時代のお雛様、ビラビラの一杯付いた冠をかぶった明治時代のお雛様、時代の移り変わりを私たちに教えてくれました。

商店街の先にあった岡山県指定史跡、野崎家旧宅は、当時の繁栄振りをうかがわせる立派な住宅でした。波を形取った大胆で優美な欄間のデザイン、一間巾の広縁に差し込む天窓からの明かり、直線で構成された和室の美しさを存分に発揮している建物でした。芸術は、お金持ちの為に有ったのか、お金持ちは芸術を愛したのか、どちらにせよ、日本人の感性のすばらしさを残してくれています。

夜は、直島のパオで泊まりました。ワインパーティのお開きの後、女性陣のパオへ帰りますと、なんとベットの枕の上にかわいらしい桜の花びらのような足跡が点々とついていました。最初は、かばんから砂が落ちたのかなど不思議に思いましたが、お風呂から帰ってみると、除いたはずの足跡が又同じようについています。これはきっと、タヌキかイタチに違いないと佐々木さんと二人でベットの下の部屋内を探しましたが見当たらず、寝

ている間に狸が顔の上を通りませんようにと、心細く眠りにつきました。

直島アートミュージアムでは、コンクリートに生えた小さな葉っぱに感動して何度も目を凝らしました。光と闇を演出した社づくりは、神の存在を意識させてくれました。そして町内の人人の玄関への心遣いが旅人の心を癒してくれます。

直島の船着場で、本土へ帰る2人(西村さん、佐々木さん)と四国へ帰る2人(大野さん、私)は、名残惜しくて、又会う日を誓って手を振りました。

人が作り出したすばらしい物を見て、人の暖かい心に触れて、すばらしい思い出が出来た旅でした。初日に一緒にいただきました夏原さん、皆様、本当に有難うございました。



会員名簿の訂正

◆正会員

- 00 石川 尚 No.0726 関東<名前の訂正>
(誤) いしかわ ひさし (正) いしかわ なお
- 01 野口真里 No.1048 関東<Email アドレスの訂正>
(誤) marino@krcom.co.jp (正) marien-b@sea.plala.or.jp
- 02 樋浦洋行 No.0672 関東<Email アドレスの訂正>
(誤) h-hiura@create-associati.jp
(正) h-hiura@create-associati.jp
- 03 池田謙一 No.1203 関西<勤務先 TEL&FAX の訂正>
(誤) 072-676-0553 (正) 072-626-0553
- 04 加藤純子 No.0448 九州<Email アドレスの訂正>
(古) junkato1115@livedoor.com
(新) junkato1115@aries.livedoor.com

◆賛助会員

- 00 プラス株式会社 No.3112 <オフィス移転>
(新) 〒112-0013 東京都文京区音羽一丁目22番地12号
音羽 MF ビル4F
デザインセンター/システムオペレーション課
TEL 03-5940-0959 FAX 03-5940-0963

新入会員の紹介

会員番号	名前	支部	連絡先
戎谷 克治 えびすたに かつじ 会員番号 1241		九州	勤務先・事務所 戎谷建設株式会社 建築設計事務所 〒742-1107 山口県熊毛郡平生町曾根 1926-26 Tel: 0820-56-4647 / Fax: 0820-56-5015 Email: ebisu@mx51.tiki.ne.jp 自宅 同上 推薦者 山永耕平・峰尾 武
佐倉 康之 さくら やすゆき 会員番号 1242		関東	勤務先・事務所 アートプロジェクトチーム (有) さ組 〒124-0014 東京都葛飾区東四ツ木 3-15-9 Tel/Fax: 03-5698-0222 Email: y_sakura@kb4.so-net.ne.jp 自宅 同上 推薦者 峰尾 武・秋山修治
森 美香子 もり みかこ 会員番号 1243		関東	勤務先・事務所 デコ・ワークス 〒152-0001 東京都目黒区中央町 2-23-7 Tel: 03-3711-0336 / Fax: 03-3711-0351 Email: decoworks@hkg.odn.ne.jp 自宅 同上 推薦者 熊谷正信・峰尾 武
山川 富喜子 やまかわ ふきこ 会員番号 1244		関東	勤務先・事務所 株式会社イオスコレクション 〒110-0008 東京都台東区池之端 2-3-19-603 Tel: 03-5834-1670 / Fax: 03-5834-1671 Email: fukko@yos-collection.com 自宅 〒514-0083 三重県津市片田新町 69-19 Tel: 059-237-2809 / Fax: 059-256-5333 推薦者 川上玲子・本澤和雄
浅賀 秀弥 あさが ひでみ 会員番号 1245		中部	勤務先・事務所 ライラック通り'91 〒468-0015 愛知県名古屋市中区天白区原 4-1501 SMY88原 1A Tel / Fax: 052-806-7657 Email: lilac@hanacupid.com 自宅 〒468-0014 愛知県名古屋市中区天白区中平 2-1018-1-104 Tel: 052-806-7657 推薦者 峰尾 武・安藤 清
竹川 好郎 たけかわ よしろう 会員番号 1246		中部	勤務先・事務所 株式会社総合企画 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 1-2-24 ロンシャン金山 502 Tel: 052-350-7561 / Fax: 052-350-7562 Email: take-y@v7.com 自宅 〒474-0071 愛知県大府市梶田町 5-165 Tel: 0562-47-0476 推薦者 安藤 清・小宮三辰
藤井 昌男 ふじい まさお 会員番号 1247		関東	勤務先・事務所 株式会社エフ・ディー・エス 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-7-5 青山セブンハイツ 1002 Tel: 03-5778-3971 / Fax: 03-5778-3972 Email: mf_fujii@d2.dion.ne.jp 自宅 〒336-0035 埼玉県さいたま市南区松本 1-26-20-119 Tel: 048-838-9882 推薦者 川上玲子・本澤和雄
石田 和人 いしだ かずひと 会員番号 1248		関東	勤務先・事務所 石田和人デザインスタジオ 〒351-0035 埼玉県朝霞市朝志ヶ丘 4-10-13-1005 Tel / Fax: 048-487-1904 Email: kazuhito@tk9.so-net.ne.jp 自宅 同上 推薦者 川上玲子・井上 昇

2004/1・2・3

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報 (2004年通巻224号)

2004年7月7日発行

発行所/社団法人 日本インテリアデザイナー協会

発行人/川上玲子

〒163-1008 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー 8F

TEL. 03-5322-6560

FAX. 03-5322-6559

企画・編集/本部情報委員会 JID News 委員長 石川 尚

製作/石黒画房

総会資料 28P の一部が間違っていました。お詫びして訂正いたします。 **訂正箇所（太字）正**

JID 平成 16・17 年度組織について

総 会（最高議決機関）

理 事 会（運営責任機関）

委員会・事業支部（運営の具体化機関）

委員会・事業支部名

主なる業務

選考委員会
（担当理事 1 名）

JID 賞の選考表彰を主たる業務とし、JID 賞に関わる業務、選定方法などについての試案を作成理事会に報告する

総務委員会
（担当理事 2 名）

儀典に関すること
予算・決算に関すること
会員の身分、資格・福祉・業務契約・報酬などに関すること
組織に関すること
会員拡大に関すること
著作権・工業所有権など知的財産に関すること
知的財産に関する他団体との共同に関すること

交流委員会
（担当理事 2 名）

国際交流・国際情報に関すること
IFI・APSDA など海外組織との連携に関すること
会員相互・関係団体との交流に関すること
各種交流の団体内調整に関すること

情報委員会
（担当理事 2 名）

JID ニュース・ワーク集など出版に関すること
名簿を含む出版などに関すること(電子出版を含む)
協会活動の情報収集、記録、整理に関すること
国内広報に関すること

事業推進担当
（または事業運営・活動推進）
（担当理事 3 名）

事業計画概要の立案と支部間調整
研究、研究発表に関すること
受託研究・発表に関すること
講習会・見学会などに関すること
展覧会などの開催に関すること

4 事業支部担当(各地域)
（担当理事 1 名）

各事業支部の特性に合わせた事業を実施する
全体計画および各委員会間との調整を計り事業活動をおこなう

事務局

所轄官庁との連絡に関すること
会員の動静、入退会、名簿、資産などの管理業務
各委員会活動並びに本部活動を補佐し、連絡調整を図る
関係団体との事務連絡窓口業務。その他事務局規定に従った業務
各委員会活動並びに支部活動を補佐し、連絡調整を図る（支部事務局）

備考 一部の委員会の名称については、内容に合せた適切な名称があれば柔軟に対処する。

JID 関東事業支部 支部会員の皆様へ

皆様のお手元に配布された第 11 回関東事業支部 支部総会資料に不備がありましたので、ここに追記及び修正させていただくことをお願い申し上げます。

記

第 3 号議案

平成 16 年度事業計画（案）

5. 事業推進委員会

JID パートナース関東・賛助会員とのタイアップ事業企画及び計画が抜けておりましたので追加いたします。

1. 情報委員会

6. ワーク集出版記念パーティの実施等企画は、1.のワーク集の編集刊行に含まれる企画の誤りで、ここに訂正いたします。

平成 16 年 5 月 25 日
社団法人日本インテリアデザイナー協会
関東事業支部
支部長 佐藤健一

平成16年7月9日

事務局ニュース

社団法人日本インテリアデザイナー協会 本部事務局

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー8F

【新賛助会員の紹介】

会員番号 3175	ハンスグローエジャパン株式会社	連絡先 〒108-0074 東京都港区高輪2-15-21 小野ビル6F Tel: 03-5424-1950 / Fax: 03-3449-9651 URL: http://www.hansgrohe.co.jp Email: info@hansgrohe.com 担当者 紹介者 マーケティング部課長 片桐 尚枝 ハンスグローエシンガポール(SIDメンバー)
会員番号 3176	株式会社添島勲商店 そえじまいさおしょうてん	連絡先 〒831-0014 福岡県大川市大字中木室23-1 Tel: 0944-88-1141 / Fax: 0944-88-1503 URL: http://www.soejima.com Email: mailbox@soejima.com 担当者 紹介者 係長 石橋 直樹 川上 玲子
会員番号 3177	ラ・ヴィータ株式会社	連絡先 〒780-8690 高知県高知市本町3-3-1 Tel: 088-871-1115 / Fax: 088-871-1116 URL: http://www.la-vita.co.jp Email: tmiyajji@la-vita.co.jp 担当者 紹介者 代表取締役社長 宮地 貴嗣 早乙女 明子
会員番号 3178	サイレントグリス株式会社	連絡先 〒160-0002 東京都新宿区坂町28 三廣ビル4F Tel: 03-3350-4809 / Fax: 03-3350-4334 URL: http://www.silentgliss.co.jp Email: a-toyoda@silentgliss.co.jp 担当者 紹介者 常務取締役 豊田 彰 大槻 秀人(トソー(株))・伊藤 公一
会員番号 3179	株式会社サカイ	連絡先 〒811-0203 福岡県福岡市東区塩浜1-27-24 Tel: 092-606-7810 / Fax: 092-608-0090 URL: http://www.sakairib.com Email: sakairib@sakairib.com 担当者 紹介者 代表取締役社長 堺 道明 山永 耕平
会員番号 3180	日本フィスバ株式会社	連絡先 〒163-0021 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー21F Tel: 03-3343-2031 / Fax: 03-3343-2076 URL: http://www.fisba.co.jp Email: toshiko.matsuo@fisba.co.jp 担当者 紹介者 マーケティング部部長 松尾 敏子 安竹 麻智・菅野 民子・安田 恵

【名簿の訂正】

※「会員名簿」の該当ページよりご訂正ください。

<勤務先・自宅住所訂正>

会員番号	お名前	頁		
1022	石沢 洋生	関東 p03	(誤) (正)	埼玉県朝霞市三原2-16-3 埼玉県朝霞市三原2-16-13

【会員異動のお知らせ】

※「会員名簿」の該当ページよりご訂正ください。

●正会員

会員番号	お名前	頁	異動事項	新
1131	佐藤 勝己	関東 p07	事務所開設	佐藤勝己デザイン事務所 〒165-0022 東京都中野区江古田4-34-3 本間ハウス Tel/Fax: 03-3386-8250
1201	福田 秀明	関東 p12	事務所開設	スタイレックスデザイン株式会社 〒104-0061 東京都中央区銀座1-4-3 7F Tel/Fax: 03-5250-8878
0839	金杉 哲男	関東 p05	事務所移転	有限会社意匠工房物理素 〒107-0062 東京都港区南青山4-18-3 秀和青南レジデンス603 Tel: 03-3423-9340 / Fax: 03-3423-9346
0062	松宮 純一	名誉会員 関西 p26	自宅移転	〒604-8006 京都府京都市中京区河原町通二条下ル 下丸屋町413-4 レスタージュ 御池、高瀬川 703 Tel: 075-254-2785
0200	垂見 健三	関東 p09	勤務先FAX変更 Eメール開設	Tel/Fax: 03-3261-6770 (Tel/Fax共通) tarumi@sunny.ocn.ne.jp
0451	岩倉 榮利	関東 p04	Eメール変更	e-iwakura@rockstone.co.jp

●賛助会員

会員番号	お名前	頁	異動事項	新
3112	プラス株式会社	賛助 p29	移転	デザインセンター 〒112-0013 東京都文京区音羽1-22-12 音羽MFビル4F Tel: 03-5940-0959 / Fax: 03-5940-0963

【本部事務局 夏期休暇のお知らせ】

8月7日(土)～15日(日)の間、夏期休暇として事務局を閉局いたしますので、何かとご不便をお掛けいたしますが、
よろしくお願いいたします。

事務局長 峰尾 武

尚、新宿パークタワー リビング・デザインセンターOZONEの夏期休館日は下記の通りです。

8月11日(水)～18日(水)

但し、ザ・コンランショップは臨時営業しております。